

第41回 スガウェザリング財団賞 表彰候補者推薦要領

(公財)スガウェザリング技術振興財団

1. 表彰の趣旨

自然環境における工業材料の腐食、退色などの劣化現象（ウェザリングという）について、加速試験等による寿命評価、劣化機構の解明、表面処理等による耐劣化性の向上など（ウェザリング技術と呼ぶ）に顕著な業績を上げた功労者を表彰することにより、本分野の技術振興を図り、もってわが国の産業発展および国民福祉の増進に貢献することを目的とします。

2. 表彰の種類と対象

- | | |
|-------------|--|
| (1) 科学技術賞 | (A) 団体…本賞：表彰状 副賞：正倉院記念楯
(B) 個人…本賞：表彰状 副賞：正倉院記念楯 50万円
永年にわたり、ウェザリング技術による材料の機能、美観または色彩の経時変化等に関する研究に携わり、優れた業績を挙げて、広く学界あるいは産業界に多大な貢献をした個人または団体 |
| (2) 科学技術功労賞 | 個人…本賞：表彰状 副賞：ギリシャ神話像記念楯 20万円
ウェザリング技術による材料の機能、美観または色彩の経時変化等に関する研究を行い、顕著な業績を挙げた研究者 |
| (3) 科学技術奨励賞 | 個人…本賞：表彰状 副賞：ギリシャ神話像記念楯 20万円
ウェザリング技術による材料の機能、美観または色彩の経時変化等に関する研究を行っており、さらに今後の研究成果が期待される若手研究者 |
| (4) 技術功労賞 | 個人…本賞：表彰状 副賞：ギリシャ神話像記念楯 10万円
永年にわたり、ウェザリング技術による材料の機能、美観または色彩の耐久性試験等に携わり、広く産業界に貢献した個人 |

3. 推薦方法

- | | |
|----------|--|
| (1) 推薦者 | 学会、協会、大学、高専または、研究機関の代表者
(大学の場合は、学長または学部長の推薦) |
| (2) 推薦書 | 所定の推薦書に必要事項を記載の上、正を1部、その写しを7部提出
別添資料も推薦書と同様に、正を1部、その写しを7部提出
推薦書様式は、当財団Webサイトよりダウンロード頂けます。
(https://www.swtf.or.jp/activity/commendation) |
| (3) 推薦件数 | 原則として1団体から1件（大学は1学部につき1件） |

※同年度に同一候補者の表彰・助成の同時推薦はできません。表彰、助成いずれかの推薦としてください。

(裏面に続く)

4. 推薦締切期日

令和4年10月31日

5. 選考方法

書類選考、ヒヤリング（令和5年1月～2月頃）を経て、下記委員からなる審査委員会により選考、理事会の承認を得て、理事長が受賞者及び賞の種類を決定します。

[審査委員会]

委員長	相澤益男	(東京工業大学 元学長・名誉教授、工博)
委員	伊藤 勲	(スガウエザリング技術振興財団 技術顧問、工博)
委員	小野幸子	(工学院大学 名誉教授、工博)
委員	鬘谷 要	(和洋女子大学 教授、工博)
委員	坂 志朗	(京都大学 名誉教授、Ph.D (米国博士))
委員	須賀茂雄	(スガウエザリング技術振興財団 理事長)

6. 選考結果の発表

発表は、令和5年4月上旬に新聞発表及び当財団ホームページで発表します。

7. 贈呈式

令和5年4月下旬予定。

8. 推薦書提出先

公益財団法人 スガウエザリング技術振興財団

事務局 かんとう いさお 菅藤 功

〒160-0022 東京都新宿区新宿 5-4-14

TEL 03-3354-5248 / FAX 03-3353-4753 / E-mail info@swtf.or.jp

個人情報取扱いについて

- 推薦書に記載頂いた個人情報は、下記の目的で利用いたします。
 - 候補者の選考及び連絡
- 法律で定められている場合を除いて、推薦書に記載の個人情報を当該本人の同意を得ず第三者に提供することはありません。但し、受賞決定者の氏名、所属、研究テーマ及び業績を当財団ホームページの他、各種媒体において公表させていただきます。

第42回 助成候補者推薦要領

(公財)スガウエザリング技術振興財団

1. 助成の趣旨

自然環境における工業材料の腐食、退色などの劣化現象（ウエザリングという）について、加速試験等による寿命評価、劣化機構の解明、表面処理等による耐劣化性の向上など（ウエザリング技術と呼ぶ）の研究あるいは試験を助成することにより、本分野の技術振興を図り、もってわが国の産業発展および国民福祉の増進に資することを目的とします。

2. 助成の対象

2-1. 研究助成

助成対象者は、学会、協会、大学、高専または、研究機関に所属または関連する方で、

- (1) ウエザリング技術あるいはその関連技術について実績があり、かつ今後の発展が期待できる研究目標を持つ研究者または研究グループ。
- (2) ウエザリング技術あるいはその関連技術について強い関心を持ち、明確な研究目標を持つ若い研究者。

2-2. 国際会議助成

助成対象者は、学会、協会、大学、高専または、研究機関に所属し、ウエザリング技術に関わる国際会議を主催する方で、その会議が具体的な成果として我が国のウエザリング技術の発展に資するものと認められる会議であること。

3. 助成の内容

原則として、研究助成は1件50万円または100万円の2種類、国際会議助成は50万円を上限とし、予算の範囲内で件数を決定します。
令和5年4月1日～令和6年3月31日までの研究または国際会議を助成対象とします。

4. 推薦方法

- (1) 推薦者 学会、協会、大学、高専または、研究機関の代表者
(大学の場合は、学長または学部長の推薦)
- (2) 推薦書 所定の推薦書に必要事項を記載の上、正を1部、その写しを7部提出
別添資料も推薦書と同様に、正を1部、その写しを7部提出
推薦書様式は、当財団 web サイトからダウンロード頂けます。
(<https://www.swtf.or.jp/activity/commendation>)
- (3) 推薦件数 原則として、2-1. 研究助成、2-2. 国際会議助成 それぞれで
1団体から2件以内（大学は1学部につき2件以内）

※同年度に同一候補者の表彰・助成の同時推薦はできません。表彰、助成いずれかの推薦としてください。

(裏面に続く)

5. 推薦締切期日

令和4年10月31日

6. 選考方法

書類選考、ヒヤリング（令和5年1月～2月頃）を経て、下記委員からなる審査委員会により選考、理事会の承認を得て、理事長が助成金受領者を決定します。

[審査委員会]

委員長	相澤益男	（東京工業大学 元学長・名誉教授、工博）
委員	伊藤 叡	（スガウエザリング技術振興財団 技術顧問、工博）
委員	小野幸子	（工学院大学 名誉教授、工博）
委員	鬘谷 要	（和洋女子大学 教授、工博）
委員	坂 志朗	（京都大学 名誉教授、Ph.D（米国博士））
委員	須賀茂雄	（スガウエザリング技術振興財団 理事長）

7. 選考結果の発表

発表は、令和5年4月上旬に新聞発表及び当財団ホームページで発表します。

8. 贈呈式

令和5年4月下旬予定。

9. 成果の報告

推薦書に沿った内容で研究または国際会議の成果を年度末（令和6年3月末日）までに提出。成果報告後、原則として3年以内にスガウエザリング学術講演会で成果発表（応相談）。

10. 推薦書提出先

公益財団法人 スガウエザリング技術振興財団

事務局 かんとう いさお 菅藤 功

〒160-0022 東京都新宿区新宿 5-4-14

TEL 03-3354-5248 / FAX 03-3353-4753 / E-mail info@swtf.or.jp

個人情報取扱いについて

- （1）推薦書に記載頂いた個人情報は、下記の目的で利用いたします。
 - ・ 候補者の選考及び連絡
- （2）法律で定められている場合を除いて、推薦書に記載の個人情報を当該本人の同意を得ず第三者に提供することはありません。但し、助成決定者の氏名、所属、研究テーマ、概要及び成果の概要を当財団ホームページの他、各種媒体において公表させていただきます。